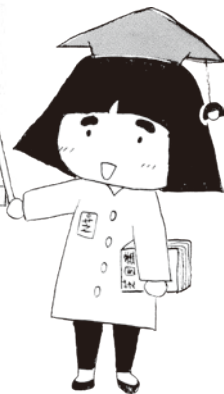
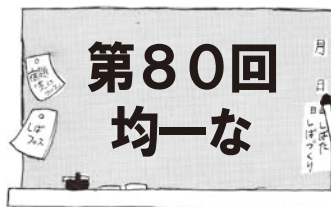


# しば子先生の

## 芝生教室



**先生:** ドライスポット用浸透剤の構造や特性についてはよくわかったかしら?

**生徒:** 新しいタイプの界面活性剤を利用してドライスポットに効果の高い製品がいろいろ出ているんですね・・

**先生:** いろいろ開発されているからどれが一番いいとはなかなか比較しづらいことも事実ね・・

**生徒:** なるほど・・土壤の中の事だから目に見えないし・・

**先生:** 効果だけではなく安全性や残効期間も比較の条件になるし・・アメリカでも新しい浸透剤の比較試験は結構頻繁にされているのでそういったデータをもとに検討することも重要ね・・ただ基本的には土壤を健全な状態にしておかないと浸透剤を撒けばすべて解決するという事ではないわね・・

**生徒:** やはり土壤の物理性や有機物量を正しくしておかないといけないという事ですね・・

**先生:** そのとおりね・・サンドグリーンに有機物をいっぱい入れてドライスポットだからと言って浸透剤を撒いても複雑になるばかりね・・

**生徒:** そうですよ・・

**先生:** 浸透剤自体も有機物だから・・

**生徒:** そうか・・炭素を骨格としている立派な有機物ですね・・という事は土壤微生物にどんどん分解されてしまうんですね・・

**先生:** そうね・・それが「残効」期間に影響するのよ・・すべての浸透剤は「非イオン系」なの知ってる?

**生徒:** 確かにどの浸透剤のカタログにも非イオン系って書いてるかもしれないです・・

**先生:** イオン系の界面活性剤は水に溶けやすくすぐに土壤微生物に分解されてしまうから土壤に使う界面活性剤としては適切ではないのよ・・

**生徒:** それでみんな「非イオン系界面活性剤」なんですね・・

**先生:** そういう事なのよ・・でも大体1か月が一般的な界面活性

剤の残効期間ね・・土壤の有機物が多いとドライスポットが多発して頻繁に浸透剤を撒くことになるけど、あまり撒きすぎると土壤の有機物と浸透剤がからまってべとべとになって今度は乾きにくくなるから注意しないとイケないわね・・有機物の多い土壤の場合エアレーションをして新しい砂を入れて行かないと根本的な解決にはならないわ・・

**生徒:** やはり芝地に有機物はいい事ないんですね・・

**先生:** そうね・・人間は芝の表面しか見ていないから

### 浸透剤散布無し

Depth (in.)	VWC	VWC
0.5	8.0	18.0
1.5	1.3	15.8
2.5	2.0	3.9
3.5	1.2	1.0
4.5	1.0	0.9

### 浸透剤散布有り

Depth (in.)	VWC	VWC
0.5	15.1	12.3
1.5	17.0	16.5
2.5	6.6	9.9
3.5	2.5	3.8
4.5	1.4	1.2

らわからないけど、散水や雨の水は必ずしも均一に土壤に浸透していないのよ・・これは撥水性土壤でなくともある程度起こる現象ね・・上の写真は土壤の断面で、浸透剤を撒いた時と撒かなかった時の水の浸透状況を写真で撮ったものね・・水が均一に浸透しないという事は散布した肥料養分も浸透しなくなるという事だから芝生にとっては大変痛手ね・・

**生徒:** なるほど・・浸透剤を撒くことによって均一な水分、養分の浸透、広がりを助けることになるんですね・・健全な土壤にしたとしても定期的な浸透剤の散布は良い結果をもたらすんですね・・

**先生:** グリーンだけではなくフェアウェーなどにも水の表面張力を無くすタイプの浸透剤を撒くことによって乾燥に強く、均一な芝地を作る助けになるわ・・土壤の物理性や有機物量を適正にしてスプリンクラーの設定をチェックしてそのうえで良い浸透剤を選ぶこと!そして正しい肥培管理!



しば子先生への質問や励ましのメールはこちらへ・・  
shibako@hugh-enterprise.co.jp